

Food Japan 2017

シンガポール駐在員事務所
島 宗辰

今年も 2017 年 10 月 26 日（木）～28 日（土）にアセアン域内最大の日本食見本市である「Food Japan 2017（旧 Oishii Japan）」がシンガポールの Suntec Singapore Convention & Exhibition Centre で開催されました。シンガポールを含むアセアン各国では、多くの種類の日本食・日本食在を堪能・入手でき、飽和状態といわれる事もありますが、各企業の進出に対する暑い熱は冷めることなく続いております。



広島銀行はこの見本市に協力銀行として、Food Japan 開催に係るセミナー実施・お取引先への紹介等で協力しております。

6 回目（旧 Oishii Japan を含む）となった今回は、38 都道府県からの 304 社・団体が出展し、従来からニーズの高かった農産品、和牛、日本酒、菓子等に加え、健康ニーズの高まりから、水産加工品、低等質・低カロリー・グルテンフリー等の健康機能食品の商談・試食・販売が行われました。この商談会は食品だけではなく、日本食を作る 機器の展示・販売も行われ、食品乾燥機（ドライフルーツ製造）には多くのバイヤーからの注目を集めていました。



一般公開が行われた最終日（26 日、27 日はバイヤー等の業者のみ入場可）には昨年同様、熱烈な日本食ファンが開場前から長蛇の列をつくり、入場者数が約 5,000 名、多くの出展社の商品が昼過ぎには売切れるほどの大盛況で閉会しました。

【来場者数】

10/26（木）	10/27（金）	10/28（土）	合計
4,292 名	1,836 名	4,933 名	11,061 名

今回も引続き、自治体が出展ブースを借上げ、地元の企業と共同出展するという取組みが多く見られました。近隣では山口県・山口市・下関市で同取り組みがなされており、河豚や明太子等の水産加工品から地ビールまで、地元産品のセールスが行われておりました。市場調査、輸入業者の選定、販路開拓等、いろんな利用の仕方がある海外の展示会ですが、きちんと目標を持ち、帰国後の活動に生かす活動が重要となってきます。コーヒー、ワイン等に特化した珍しい商談会も開催されています。ぜひ、皆様も海外展示会への出展をきっかけに、海外への販売・海外での製造を検討してみてください。

